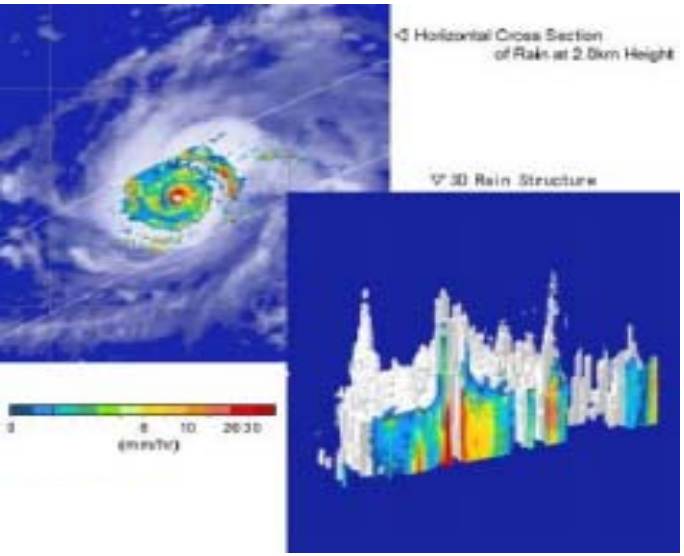
熱帯降雨観測衛星 TRMM／ＰＲの成果 (1997年～)

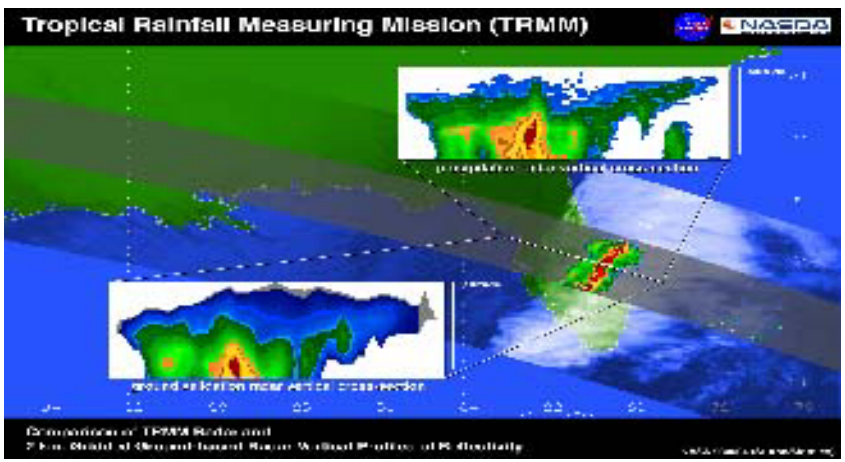
日米共同プロジェクトとして打上げられたＴＲＭＭは、日本が開発した世界初の衛星搭載降雨観測用レーダである降雨レーダ（ＰＲ）を搭載しており、観測データは気候変動研究にとって非常に貴重なデータとなるものであり、気候システムの理解、エルニーニョなどの異常気象の解明、更に災害防止のための洪水予報などに貢献すると期待されている。



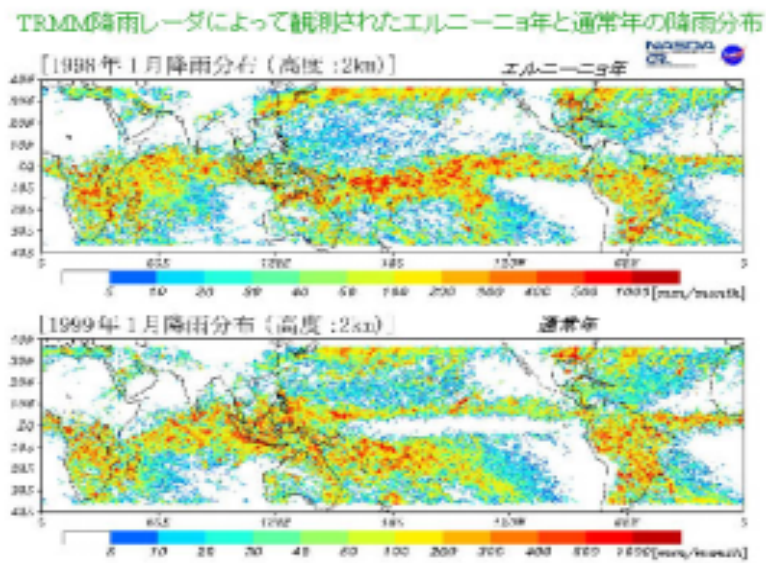
台風8号(２０００年8月)の三次元構造

TRMMの主要な成果

- 宇宙からのレーダによる降雨観測技術の確立/降雨の三次元構造の観測(PR)
  降雨レーダ(PR)は、降雨の詳細な三次元構造を観測し、降雨の物理、台風の内部構造の解明、全球の水･エネルギー循環の評価のための画期的なデータを提供している。
- 海陸を問わない均質な降雨強度の分布の観測(PR)
- 土壌水分の観測(PR)



集中豪雨/自然災害の観測



降雨強度の分布: 熱帯降雨の観測と気候プロセスの理解